



不二硝子株式会社

平成30年3月期 決算説明資料

不二硝子株式会社

JASDAQ

株式コード:5212



平成30年3月期 決算概要

平成30年3月期 決算の総括

当連結会計年度におけるわが国の経済は、米国の政策動向による海外経済の不確実性や中東・東アジア地域における地政学リスクに対する懸念はあるものの、堅調な企業収益の継続的な向上に加え、雇用・所得環境の改善が進むなど経済の好循環が実現しつつあり、緩やかな回復基調となっております。

当社グループの属する医薬容器業界は、主需要先の医薬業界において、高齢者医療等の増大に伴う医療保険財政の窮迫に対して、引き続き政府による薬剤費抑制策が推し進められ、さらに本年4月に薬価改定が実施される事に伴い当業界の主力製品である「アンプル・管瓶」の需要が低調に推移した厳しい経営環境にありました。

このような環境下、当社グループといたしましては、主要製品はじめ関連商品の拡販と、さらなる諸経費の削減や品質水準向上に全力を注ぎ、業績の向上に努めてまいりました。

当連結会計年度の売上高につきましては、「管瓶」が増加しましたが「アンプル」や「その他」の売上が減少したことで前年を下回り、売上高25億7百万円（前期比6.9%減）となりました。

利益面につきましては、売上の減少に対応すべく適正な人員配置や製造設備の整備をはじめ、社内業務全般の効率化や徹底した経費節減を行いました。営業利益6千5百万円（前期比7.4%減）、経常利益8千9百万円（前期比2.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益5千1百万円（前期比8.8%減）となりました。

損益計算書 【連結】

単位：百万円

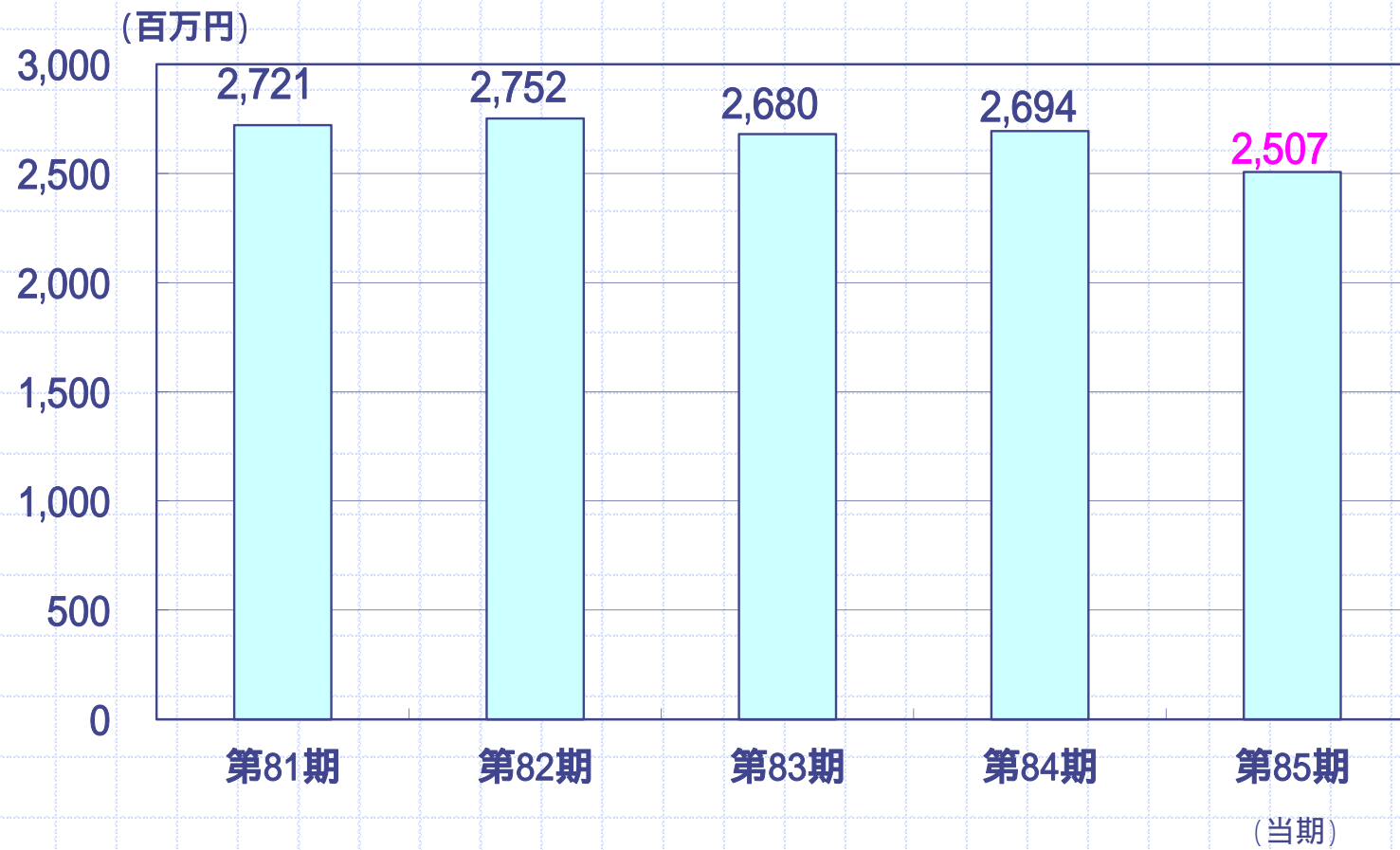
科目	当期	前期	前期比(%)	備考
売上高	2,507	2,694	6.9	
売上原価	2,016	2,204	8.5	売上原価で適正な人員配置と業務効率化と徹底した経費節減を実施。
売上総利益	491	489	0.3	
販売費及び一般管理費	425	418	1.6	配置転換等による増員。
営業損益	65	70	7.4	
経常損益	89	91	2.3	売上減少に伴う、経費節減等を行いました。前期より減少。
親会社株主に帰属する 当期純損益	51	56	8.8	

貸借対照表 【連結】

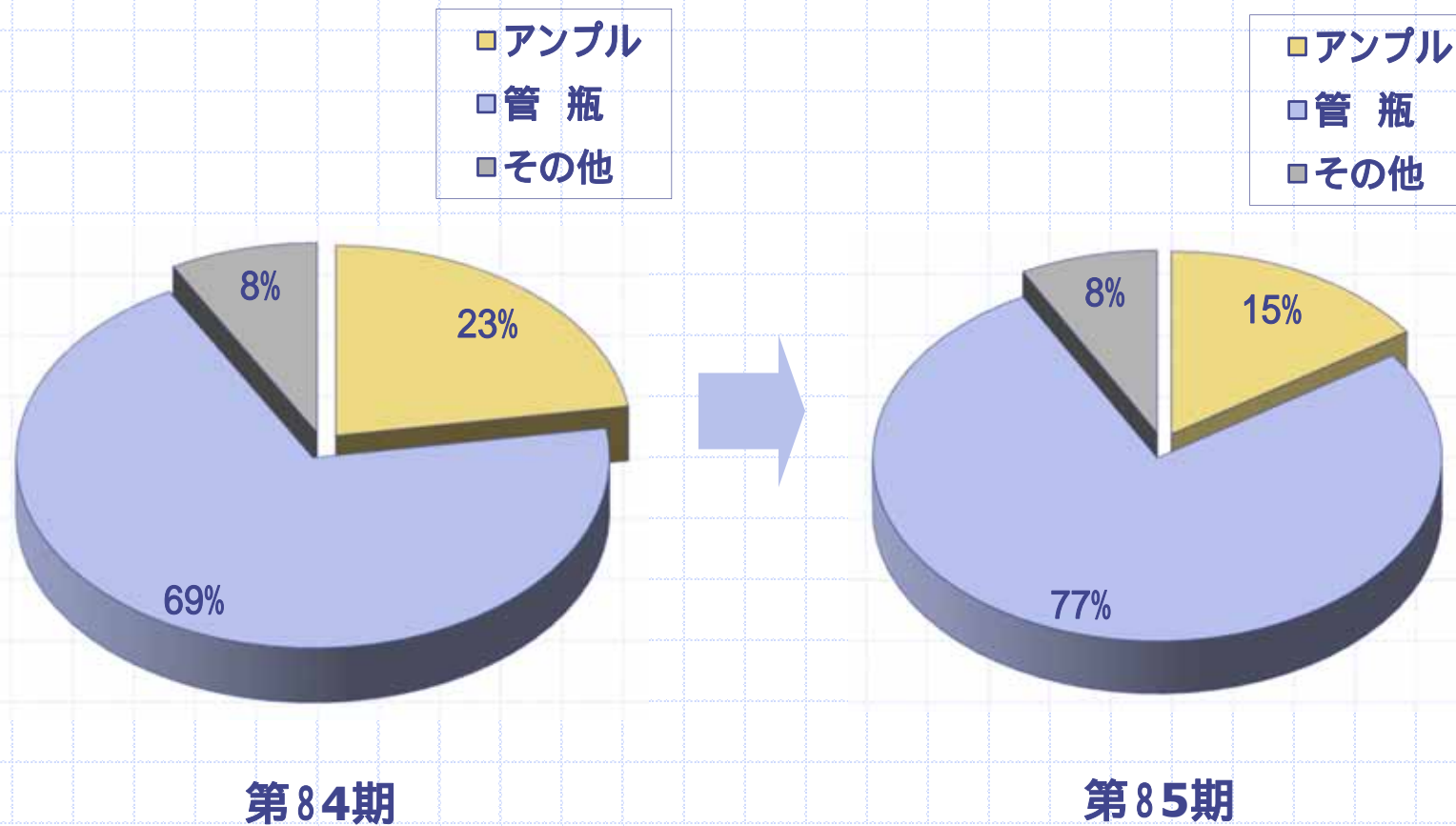
単位：百万円

部	科目	当期	前期	増減	備考
資産	流動資産	1,799	1,825	26	現金及び預金・有価証券が増加しましたが、商品及び製品・受取手形及び売掛金が減少しました。
	固定資産	1,896	1,743	153	投資有価証券の時価評価が増加しました。
資産合計		3,695	3,568	127	
負債	流動負債	505	536	30	買掛金及び繰延税金負債が増加した一方で、長期借入金及びその他が減少しました。
	固定負債	677	657	19	
負債合計		1,182	1,193	10	
純資産	株主資本	1,877	1,850	26	利益剰余金が増加しました。
	その他の包括利益累計額	557	449	108	その他有価証券評価差額金が増加しました。
	非支配株主持分	77	74	2	
純資産合計		2,512	2,375	137	
負債純資産合計		3,695	3,568	127	

売上推移 【連結】



売上構成比の比較 【連結】





平成31年3月期 業績予想

平成31年 3 月期業績予想

		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり年間配当金		
						中間	期末	合計
		百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
連結	中間期	1,300	40	50	35			
	通 期	2,300	50	60	45		7.50	7.50

今後の見通しにつきましては、当医薬容器業界におきましては、主たる得意先である医薬品業界において、政府による薬剤費の抑制傾向がますます強まって、引き続き厳しい受注環境となることが推測されます。

このような状況のもと、主力製品を中心に販売促進を強化するとともに、徹底したコストダウンの推進と財務体質の改善を図り、業績の向上に努めてまいります。

次期の連結業績の見通しにつきましては、売上高 2.3 億円、営業利益 5 千万円、経常利益 6 千万円、親会社株主に帰属する当期純利益 4 千 5 百万円を見込んでおります。

《ご参考》 1株当たり予想当期純利益（通期） 21円89銭（連結）

参 考

当社の経営方針・中期経営計画

◆ 今後の経営方針

当社グループは、製薬業界における薬剤の包装容器メーカーとして、永年培った技術を駆使して、常に製品の高度な品質と安定した供給を旨とし、社会に貢献することを基本方針としております

◆ 中期経営計画

成熟化した国内市場での一層のシェア確保、高度な生産技術・工場内の整備を進め効率のよい生産管理を行い、収益性の高い強固な事業体質の構築を目指します。さらに、迅速かつ効果的な経営効率化のために認証取得した、国際的な管理基準であるISO9000 2008年度版にGMPの要求事項を盛り込んだ管理体制となる「ISO15378」を平成30年3月に認証取得いたしました。今後は、この管理体制に基づき「情報の効率化・迅速化」を目的とした基幹系統合システムの構築と品質管理に積極的に取り組んでまいります。

◆ 会社に対処すべき課題

今後につきましては、当期同様厳しい経営環境が続くものと予想されますが、企業体質の強化を図るために、引き続き「品質の強化」「売上の拡大」「コストの低減」「管理体制の強化」を重要テーマとして、当社グループを挙げて徹底した経費の節減を行い原価の低減に傾注するとともに、製造設備の整備を進め相互補完による最適生産などによる連結経営のより一層の強化を図り、積極的な販売活動と営業拡大を行い業績向上に努力を重ねてまいります。



不二硝子株式会社

本資料に関するお問い合わせ

不二硝子株式会社

総務部

TEL : 03 - 3617 - 5111

E-mail : soumubu@silicox.co.jp